

小笠原諸島返還50周年記念事業

小笠原ヨットレース2017

レース公示(Notice of Race)Ver.1

2016年11月21日

- 【開催日】 2017年5月2日(月)～5月7日(日)
【開催地】 東京都小笠原村～神奈川県三浦市
【主催】 公益財団法人日本セーリング連盟(JSAF) 加盟団体 外洋三崎
【公認】 公益財団法人日本セーリング連盟(申請中)
【後援】 国土交通省(予定)、スポーツ庁(予定)、東京都(予定)、三浦市(予定)
【協力】 小笠原ヨットクラブ(予定)

※小笠原丸の運行状況に合わせて、開催日/レース日程を調整する場合がある。

1. 適用規則

- 1-1 セーリング競技規則 2017-2020(RRS)に定義された規則
但し、日没から日の出までの間はRRS第2章に代わって、海上衝突予防法および国内法規を適用する。公式の日没および日の出の時刻は、帆走指示書に記載する。
- 1-2 ORC Rating Systems 2016。但し、以下を変更する。
(1) ORC Rule 201. 2を変更し、搭載する飲料物・燃料の量を制限しない。
(2) ORC Rule 206. 1を変更し、予備メインセイル1枚の搭載を認める。
但し、予備メインセイルをレース用の代替として使用してはならない。
例外的に、セイルが重大な損傷を受たり、損失した場合、そのセイルは搭載した予備メインセイルと交換することができる。予備メインセイルに交換した場合、帰着報告書にその詳細を記載し、レース委員会に報告すること。
- 1-3 IRC規則2016 Part A, B およびC。但し、以下を変更する。
(1) IRC規則21.1.5(f)は、以下に書き換える
『例外的に、セイルが重大な損傷を受たり、損失した場合、そのセイルは搭載した予備メインセイルと交換することができる。予備メインセイルに交換した場合、帰着報告書にその詳細を記載し、レース委員会に報告すること。』
(2) IRC規則22.4.2は、以下に書き換える。
『乗艇した乗員の最大合計重量は証書記載のクルーナンバー×85kgを超えてはならない。乗員数の制限はない。』
(3) 日本セーリング連盟IRC規程、規程1を適用する。
- 1-4 JSAF外洋レース規則 2009
1-5 JSAF外洋特別規定 2016-2017 モノハル・カテゴリー3 (OSR Cat-3)
1-6 小笠原ヨットレース2017 特別規定 (別紙-1参照)

2. 参加資格

2-1 参加艇

- (1) 2017年度JSAFへ登録している艇
- (2) 海外からの参加者は、自国のナショナルオーソリティーに登録している艇
- (3) 有効な船舶検査証(近海)を有する艇
- (4) 有効なIRC証書又はORC証書を取得している艇
尚、IRCおよびORCのショートハンドクラス証書も可とする。
- (5) LHまたは、LOAは、9m(メートル)以上の艇。

2-2 艇のオーナー

- (1) 2017年度JSAF外洋加盟団体の会員であること
- (2) 海外からの参加者は、自国のナショナルオーソリティーに加盟していること

2-3 艇長(スキッパー)

- (1) 2017年度JSAF外洋加盟団体の会員であること
- (2) 海外からの参加者は自国のナショナルオーソリティーに加盟していること
- (3) 300マイル以上の無寄港セーリングを経験していること
- (4) 自己経歴申告書の提出
- (5) 全ての乗組員の健康状態をレーススタート前に確認していること
- (6) 赤十字救急法救急員認定又はこれに準ずる認定を受けている者を2名以上乗船させること

2-4 乗員(クルー)

- (1) JSAFの会員であること
- (2) 海外の参加者は、自国のナショナルオーソリティーに加盟していること
- (3) 乗員はオーバーナイトのセーリングを経験していること。
- (4) 経歴に関し艇長の認証書を提出すること

2-5 安全講習の実施および受講

- (1) 2015年1月以降に以下の項目を有する講習会を1回以上受講したことの証明書を提出すること。尚、シングルハンドとダブルハンドの場合は全員、3名以上乗船の場合は、2分の1以上の乗組員の受講を必須とする。
 - ①救命救急
 - ②ライフラフト展開と乗り組み
 - ③火せん類の発砲訓練
 - ④落水者救助
- (2) 小笠原レース安全講習会の受講
2017年5月1日(月)の安全講習会を受講すること。
尚、シングルハンドとダブルハンドの場合は全員、3名以上乗船の場合は、2名以上の受講を必須とする。

3. 参加申込み

3-1 レース参加申込方法

下記 URL より、オンラインエントリーすること。

URL : <http://misaki-ocean-sailing.club/2017/ogasawara-entry/form/>

エントリー費の振り込みと提出書類【書式1】の受領を以って、レース参加申込受付となる。

3-2 提出書類の期限

	(2017年)
① レース参加費計算書兼振込受領書(写し)添付台紙【書式1】	3月31日(金)
② 出艇申告書(乗員登録)【書式2】	4月14日(金)※1
③ レーティング証書(写し)	4月14日(金)※2
④ JSAF外洋特別規定 2016-2017OSR Cat-3 申告書【書式3】	3月31日(金)
⑤ 小笠原ヨットレース2017 特別規定申告書【書式4】	3月31日(金)
⑥ 保険証書(写し)	3月31日(金)
⑦ 乗員のJSAF会員証(写し)【書式6】	4月21日(金)※3
⑧ 海外の参加者は自国のナショナルオーソリティーの加盟証(写し)【書式6】	4月21日(金)
⑨ 主催者-競技参加者 契約書【書式7】	4月14日(金)

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ⑩ 船舶検査証(写し)および裏面に記載がある場合は裏面(写し) | 3月31日(金) |
| ⑪ 支援艇利用申告書【書式8】 | 適時 |
| ⑫ 運行計画書【書式9】 | 4月14日(金) |
| ⑬ 自己経歴申告書および乗員経歴認証書【書式10】 | 3月31日(金) |
| ⑭ 赤十字救急法救急員認定証またはこれに準じる認定証(写し) | 3月31日(金) |

※1: 出艇申告書(乗員登録)の変更は、帆走指示書に従うこと。

※2: 期日以降の提出は、レーティングオーソリティーの都合のみ認める。

※3: 2017年度会員証が間に合わない場合、所属する加盟団体の会員証明書で代替できる。

※4: 書式は、公式ホームページからダウンロードできる。

3-3 書類の提出先

ファクスまたは PDF に変換し、メールに添付して送付すること。

提出先 ファクス : 050-3737-2919

メール : 2017ogasawara@misaki-ocean.jp

3-4 申込み期間

(1) 申込締切日 : 2017年2月28日(火)

(2) レイトエントリーを認め、期間は下記とする。

2017年3月 1日(水) ~ 2017年3月31日(金)

4. クラス分け

(1) ORC ディビジョン : フルクルークラス、ショートハンドクラス

(2) IRC ディビジョン : フルクルークラス、ショートハンドクラス

※: ショートハンドクラスは、乗員数3名以下の艇のクラスである。

※: 参加艇数によりクラス分けを行う場合がある。

※: ORCディビジョンとIRCディビジョンのダブルエントリーを認める。

5. 参加費

5-1 レース参加費

(1) エントリー費 : 200,000円/艇

レイトエントリー費 : 300,000円/艇

(2) 乗員登録費 : JSAF外洋加盟団体会員 : 10,000円/人

JSAF日本学生外洋帆走連盟会員 : 10,000円/人

上記以外のJSAF会員 : 15,000円/人

(3) ダブルエントリー追加費(エントリー費に追加) : 50,000円/艇

(4) 前夜祭/パーティー費 : 別途公開、但し、乗員登録者は無料とする。

(5) 表彰式/パーティー費 : 3,000円(当日5,000円)/人 (乗員登録者以外)

5-2 振込先

・三菱東京UFJ銀行 新宿新都心支店

・口座 : 普通 0367039

・名義 : 外洋三崎事務局レース口座

・セールナンバー、艇名で振込みをすること。

・振込手数料は参加者負担。

5-3 振り込まれた参加費は、返金しない。

6. レース日程

インスペクション-1 2017年3月~4月

インスペクション-2 2017年4月30日(日) ~ 5月1日(月)

安全講習会 2017年4月30日(日) 15:00~17:00

艇長会議 2017年5月 1日(月) 10:00~12:00

前夜祭 2017年5月 1日(月) 17:00~19:00

小笠原二見港 予定 (詳細は別途公開する)

スタート予告信号	2017年5月 2日(火) 11:55
(レイトスタート: 正規のスタート後、24時間以内のスタートであれば、これを認める)	
タイムリミット	設けない
表彰式	2017年5月 7日(日) 11:00~14:00 (予定)
	神奈川県三浦市 予定 (詳細は別途公開する)

7. 参加艇の小笠原父島入港

2017年4月29日正午(12:00)までに、小笠原父島二見港に入港すること。

8. レースの実施と成立

- (1) フルクルークラスは3艇以上のエントリーをもってレースを実施する。
- (2) ショートハンドクラスは艇数の制限を設けず、レースを実施する。
- (3) 各クラス1艇以上のフィニッシュをもってレースの成立とする。

9. 帆走指示書

帆走指示書は、公式ホームページに、2017年3月1日(水)までに掲載する。

10. コースと距離

10-1 レースコース

東京都小笠原村 父島二見港(内) ⇒ 神奈川県三浦市小網代湾口

10-2 公式距離

500マイル

11. ペナルティ

帆走指示書に規定する。

12. 成績

12-1 ORCディビジョン

パフォーマンス・カーブ・スコアリング(Off Shore)により計算する。

CTで同順位の艇がある場合は、GPHの数値が大きい艇を上位とする。

12-2 IRCディビジョン

TCCによるタイムオンタイムにより計算する。

CTで同順位の艇がある場合は、TCCの数値が小さい艇を上位とする。

13. 支援艇

支援艇の使用については予めレース委員会に申告しなければならない。

14. 停泊地 ※

14-1 小笠原村側 : 東京都小笠原村二見港。

14-2 三浦市側 : 海業公社 うらり、およびその付近の泊地。

※詳細は、別途、レース委員会から提示する。

15. 通信

15-1 ロールコールは、衛星携帯電話により行い、義務とする。

15-2 詳細は、帆走指示書／通信規定に記載する。

16. 賞

- (1) 各ディビジョンのファーストホーム賞
- (2) 各ディビジョン／クラスの優勝、準優勝、3位 (参加艇数により、賞を調整する)
- (3) 完走証明書 (完走したすべての艇および乗組員)
- (4) その他、各種特別賞

17. インспекション

レースの公平さを保持し、オーナーおよび艇長の避けられない責任を喚起するために行われる。フィニッシュ後の適切な時にレース委員会の判断により、フィニッシュした全艇又は任意に選択した艇に対して実施されることがある。

17-1 インспекション-1

- ①参加艇と日程調整し、参加艇ホームポート若しくは近隣にて実施する。
- ②不合格となった艇は、インспекション-2までに改善すること。

17-2 インспекション-2

- ①小笠原父島二見港にて、確認検査を実施する。
- ②不合格となった艇は、再検査を受けることができる。

17-3 艇長もしくは責任者を含む2名以上が立ち会うこと。

17-4 インспекション-2で再検査も不合格となった艇は、参加を認めない。この場合、レース参加費は、返却しない。

18. 責任の認否

18-1 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。

18-2 本レースにおいて、主催、運営、公認、後援、協力、協賛に関する各団体及び個人等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡による責任を負わない。

18-3 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で十分な耐航性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させるよう万全を尽くさなければならない。

18-4 オーナーは、船体、スパー、リギン、セイルおよびその他全ての備品を確実に装備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所を全ての乗組員に熟知させておかななければならない。

18-5 レースに参加するかまたはレースを続けるかについての決定の責任は、その艇にのみある。

18-6 オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底しておく必要がある。

18-7 レース委員会は不適当と認めた艇およびに艇長・乗組員の参加を拒否することができる。

19. 保険

艇はレース期間中、以下の付保範囲を持つ有効な保険に加入していること。

- (1) 賠償責任保険（1億円以上）
- (2) 搭乗者死亡・傷害保険（全乗艇員、一人当たり、合計1億円以上）
- (3) 捜索救助費用保険

20. 広告

ブームの前方の長さ20%は主催者が選択したスポンサー広告のために使用する場合がある。

21. 問い合わせ

E-メールのみで対応する。

- (1) 艇名・質問者氏名・日付を明記し、出来るだけ箇条書きで問い合わせること。
- (2) 問い合わせ内容と回答はレース参加各艇連絡責任者に、E-メールにて開示することがある。

宛先 : 小笠原ヨットレース 2017 実行委員会

メールアドレス : 2017ogasawara@misaki-ocean.jp

公式HP URL : <http://www.ogasawara.yacht-race.jp>

別紙ー1

小笠原ヨットレース2017 特別規定

1. 以下を装備すること

- (1) トライスルとストームジブ(JSAF OSR Cat-2適合)
 - (2) ビルジポンプ2台の手動ポンプ。(1台はデッキ上、もう1台はキャビン内で操作できること)
 - (3) ライフブイ(ライフポール、旗、ドローグ、浮きロープ、ストロボライト付)
 - (4) パラシュートフレア(4本)(船検備品に加える)
 - (5) 自動位置通知装置(自動トラッキングシステム)※
 - ①自動トラッキングシステムをレース委員会から貸与する。
 - ②デッキ上、上空に障害物がない場所に設置すること。
 - (6) 衛星系携帯電話1台 (レース委員会から貸与する)※
 - (7) 地上系携帯電話2台
- ※通信費は実行委員会が負担する。

2. 以下の機能を満足していること

- (1) 衛星系携帯電話、地上系携帯電話に外部電源からの供給ができること
(レース委員会から貸与する衛星系携帯電話の電源の供給方法は、別途提示する)
- (2) 膨張式ライフジャケットについては適時に機能確認がなされていること

3. オートパイロット/オートヘルムの使用

ショートハンドクラスのみ使用を認める。
これは、ORCルール204およびIRCルール15を変更している。

4. 推奨事項

- (1) 自動船舶識別装置(AIS: Automatic Identification System)の搭載
- (2) 個人装備の携帯用位置指示無線標識(PLB: Personal Locator Beacon)の搭載

5. 著作権/広報活動

レースイベント全体の著作権はJSAF外洋三崎に帰属し、写真、記事、報道内容について参加者の肖像権、プライバシーの内容に触れるものであっても大会期間中のものであればJSAF外洋三崎によって公表、開示されることを拒否できない。
また、個々の艇もしくは参加者においては、JSAF外洋三崎の許可なく、雑誌もしくは、報道紙に有料、無料でレース参加記事等を寄稿することは禁じられる。

参加するチーム(オーナー、クルーおよび当レース関連行事に参加する関係者)は、当実行委員会が撮影、記述、編集、制作または、チーム関係者からの情報を、当レースに関連するチラシ、ポスター等の印刷物および公式ホームページなどに公表することに同意するものとする。

参加チームは、実行委員会の求める参加艇・チームに関する情報(画像、記事等)を、実行委員会が求める期限迄に提出すること。

ー以上ー